

日本アジア投資株式会社 2021年3月期 第3四半期 決算補足資料

決算発表日：2021年2月12日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績	P4
3. 通期の業績予想	P9
4. 当四半期の事業進捗	P12
5. 新中期経営計画	P16
6. 参考情報	P17

(ご注意) 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

- ✓ 当四半期の累計実績（前年同期比）
 - 営業収益1,978百万円(+111.1%)、最終利益△361百万円(約4億円の赤字削減)
 - 株式とメガソーラープロジェクトの売却により増収、他社運営ファンドの損失をカバーし赤字幅を削減
- ✓ 通期の業績予想
 - 数値に変更なし。株式とメガソーラープロジェクトの売却益で黒字化を見込む
 - 新型コロナウイルス感染症の当社グループへの影響は、引き続き限定的と見込む
- ✓ 当四半期の事業進捗
 - プロジェクト投資：
 - ヘルスケア：高齢者施設1件、障がい者グループホーム1件の開発に着手
 - ディストリビューションセンター：2件の施設の開発に着手
 - プライベートエクイ投資：
 - 中国成都市（2020年12月）及び瀋陽市（2021年1月）にて協力協定を締結、アジアネットワークを強化
- ✓ 新中期経営計画（3年間：2021年4月～2024年3月）を策定

2. 当四半期の累計実績



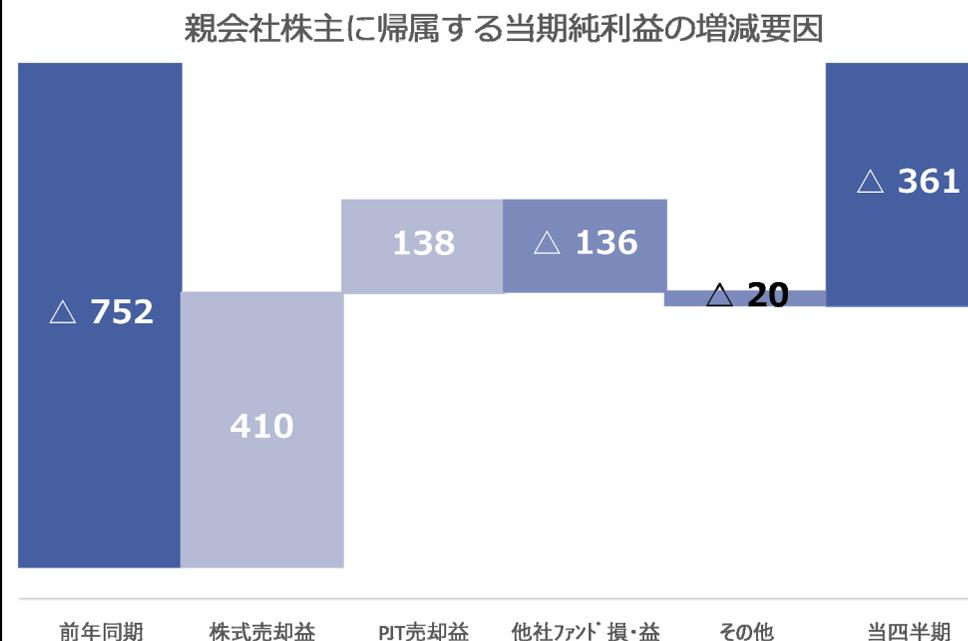
ハイライト P5

営業収益・営業原価内訳 P8

2. 当四半期の累計実績-ハイライト P/L



(単位：百万円)	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	
	金額	金額	増減率
営業収益	937	↑ 1,978	111.1%
営業原価	815	1,470	80.3%
営業総利益	121	507	317.9%
販管費	780	819	5.0%
営業利益	△658	△311	-
経常利益	△753	△335	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△752	↑ △361	-



- ✓ 増収要因：
 - ・ 海外で大型の未上場株式の売却が実現
 - ・ 1件の売電中メガソーラープロジェクトを売却
- ✓ 赤字削減要因：
 - ・ 売却益の増加が寄与し、他社の運営するファンドからの損失発生を補う

2. 当四半期の累計実績-ハイライト B/S



(単位：百万円)	2020/3期末	2021/3期 3Q末		
	金額	金額	増減率	主な増減要因 (単位：億円)
総資産	15,800	14,028	△11.2%	
うち 現預金	3,920	4,103	4.7%	返済△12、投融資△9、費用等△8、回収+31
うち プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金)	5,437	4,551	△16.3%	投融資実行+6、分配・回収・売却△15
うち 戦略投資 (営業投資有価証券)	1,005	1,190	18.4%	投資実行+1.9
うち フィナンシャル投資 (営業投資有価証券(引当後))	4,282	3,133	△26.8%	投資実行+1、分配・売却△10 持分損益・含み損益△2
借入金	8,166	6,950	△14.9%	返済△12
自己資本	7,223	6,785	△6.1%	損失△3.6、含み益△0.7
現預金+プロジェクト投資△借入金	1,191	1,704	43.0%	

- ✓ プロジェクト投資：分配、回収、売却により残高が減少
- ✓ フィナンシャル投資：投資の回収が進捗し残高が減少
- ✓ 財務バランス(※)：借入金の返済が進みバランスが改善

(※現預金とプロジェクト投資営業資産の合計額と、借入金とを比較した財務バランス)

2. 当四半期の累計実績-ハイライト C/F



(単位：百万円)	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q
営業活動によるCF	△950	↑ 1,591
投資活動によるCF	64	↓ 18
財務活動によるCF	△1,617	↑ △1,216
CF増減額	△2,524	383
期末残高	1,557	3,107

- ✓ 営業CF：投資の回収が進み黒字転換
- ✓ 投資CF：本社移転に伴う固定資産の取得に伴い収入額が減少
- ✓ 財務CF：返済額を減額したため支出額が減少

2. 当四半期の累計実績－営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q	2020/3期 3Q	2021/3期 3Q
営業収益	937	1,978	798	↗ 1,271	138	↗ 707
管理運営報酬等	153	126	151	120	2	5
営業投資有価証券売却高	566	1,615	566	↗ 1,059	0	↗ 556
組合持分利益・イカゲイ等	187	198	71	84	116	113
その他営業収益	29	38	9	6	19	32
営業原価	815	1,470	700	959	115	511
営業投資有価証券売却原価	436	937	436	519	0	418
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	237	218	237	218	-	-
組合持分損失等	137	308	22	↗ 217	115	↘ 90
その他営業原価	4	5	4	3	-	2
営業総利益	121	507	98	↗ 312	23	↗ 195

- ✓ プライベートエクイティ投資：増収・増益
 - ・ 営業収益（営業投資有価証券売却高）：海外の大型未上場株式の売却が実現し増加
 - ・ 営業原価（組合持分損失等）：他社の運営するファンドからの損失が第1四半期に発生したため増加
- ✓ プロジェクト投資：増収・増益
 - ・ 営業収益（営業投資有価証券売却高）：1件のメガソーラープロジェクトの売却により増加
 - ・ 営業原価（組合持分損失等）：植物工場の売上増加に伴い先行費用が減少

3. 通期の業績予想



業績見込値の詳細 P10

将来に関する記述等についてのご注意 P11

3. 通期の業績予想 – 業績見込値の詳細



単位：百万円	2021/3 3Q実績	通期見込 (修正なし)	
	金額	金額	進捗率
営業収益	1,978	3,250	60.9%
営業原価	1,470	1,800	81.7%
営業総利益	507	1,450	35.0%
販管費	819	1,100	74.5%
営業利益	△311	350	-
経常利益	△335	200	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△361	180	-

通期見込に修正なし

- 第3四半期累計の進捗率は巡航速度
- 第4四半期の株式とメガソーラープロジェクト6件（一部売却含む）の売却益により、黒字化を見込む

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

4. 当四半期の事業進捗



プロジェクト投資	P13
----------	-----

プライベートエクイティ投資	P15
---------------	-----

1件の高齢者施設、1件の障がい者グループホームを新規開発

高齢者施設：港区南青山七丁目プロジェクト

当社にとって3件目となる、合同会社AIPヘルスケアジャパンの開発によるプロジェクト



完成予想図

最寄り駅	東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩12分 東京メトロ千代田線 表参道駅 徒歩13分
物件概要	敷地面積1,691.52㎡ 鉄筋コンクリート造 地上5階建 介護付有料老人ホーム (定員61名)
竣工予定	2022年5月

障がい者グループホーム

当社にとって4件目となる、戦略投資先ソーシャルインクルー株式会社によるプロジェクト



写真は当社が融資しソーシャルインクルー(株)が運営する他の障がい者グループホーム



所在地	埼玉県加須市
物件概要	日中サービス支援型グループホーム 入居者用20部屋 短期入所用2部屋
竣工予定	2021年3月

4.当四半期の事業進捗－プロジェクト投資－ディストリビューションセンター



パートナー企業のKICホールディングスと2件の施設を新規開発

KIC海老名ディストリビューションセンター1 KIC海老名ディストリビューションセンター2



完成予想図



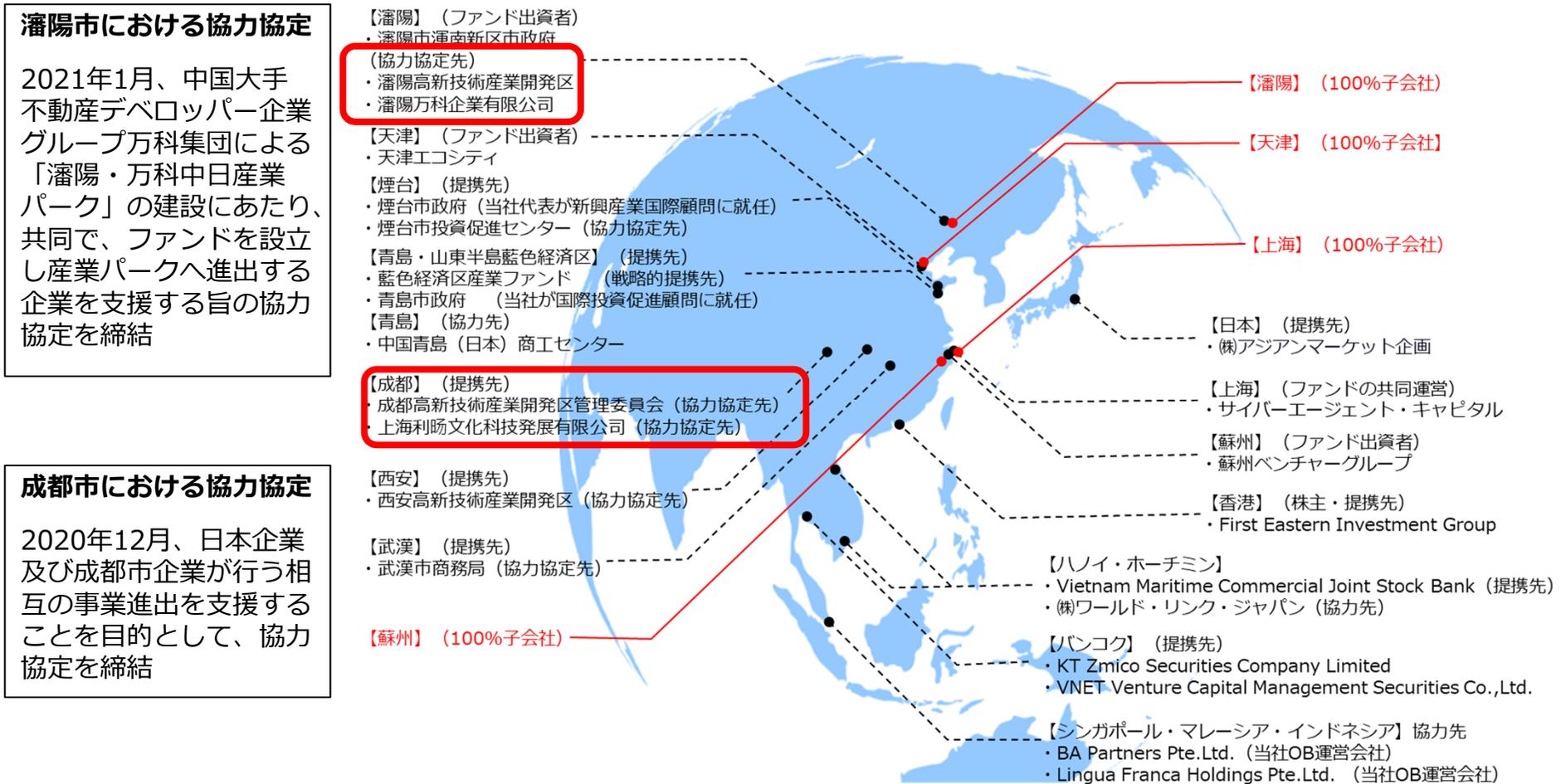
完成予想図

所在地	神奈川県海老名市
アクセス	圏央自動車道「圏央海老名IC」より約2.12km
物件概要 (予定)	延べ床面積18,808㎡、鉄骨造 地上2階建
竣工予定	2023年3月

所在地	神奈川県海老名市
アクセス	圏央自動車道「圏央海老名IC」より約2.12km
物件概要 (予定)	延べ床面積11,074㎡、鉄骨造 地上2階建
竣工予定	未定

4.当四半期の事業進捗 – プライベートエクイティ-アジアネットワーク JAIC

中国成都市及び瀋陽市にて協力協定を締結し アジアネットワークを強化

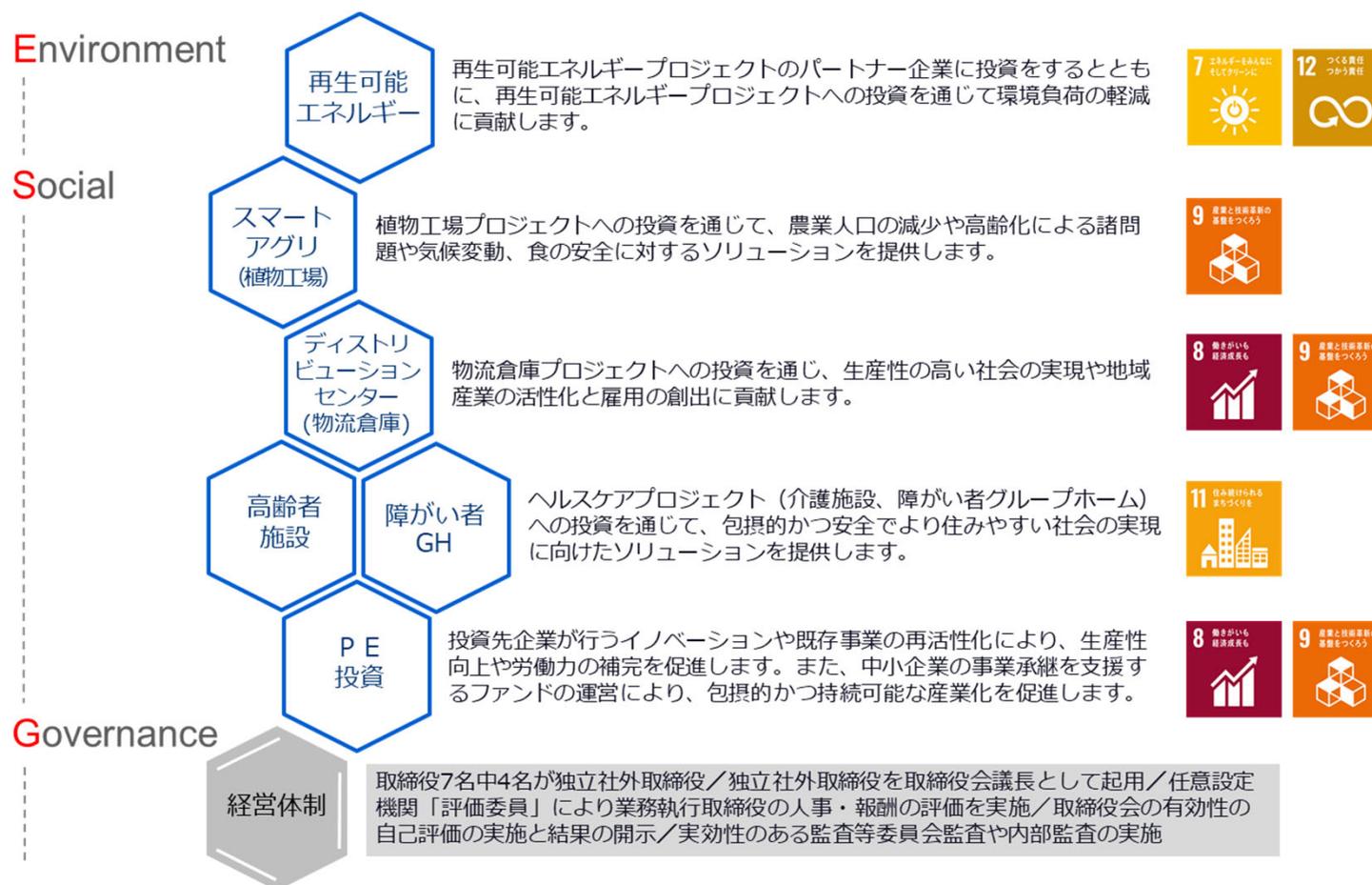


5. 新中期経営計画



2020年12月、新中期経営計画（3年間：2021年4月～2024年3月）を策定

- SDGs投資会社である事を当社のコアバリューとし、経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する。
- 詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。（https://www.jaic-vc.co.jp/jir/l3/Vcms3_00000283.html）



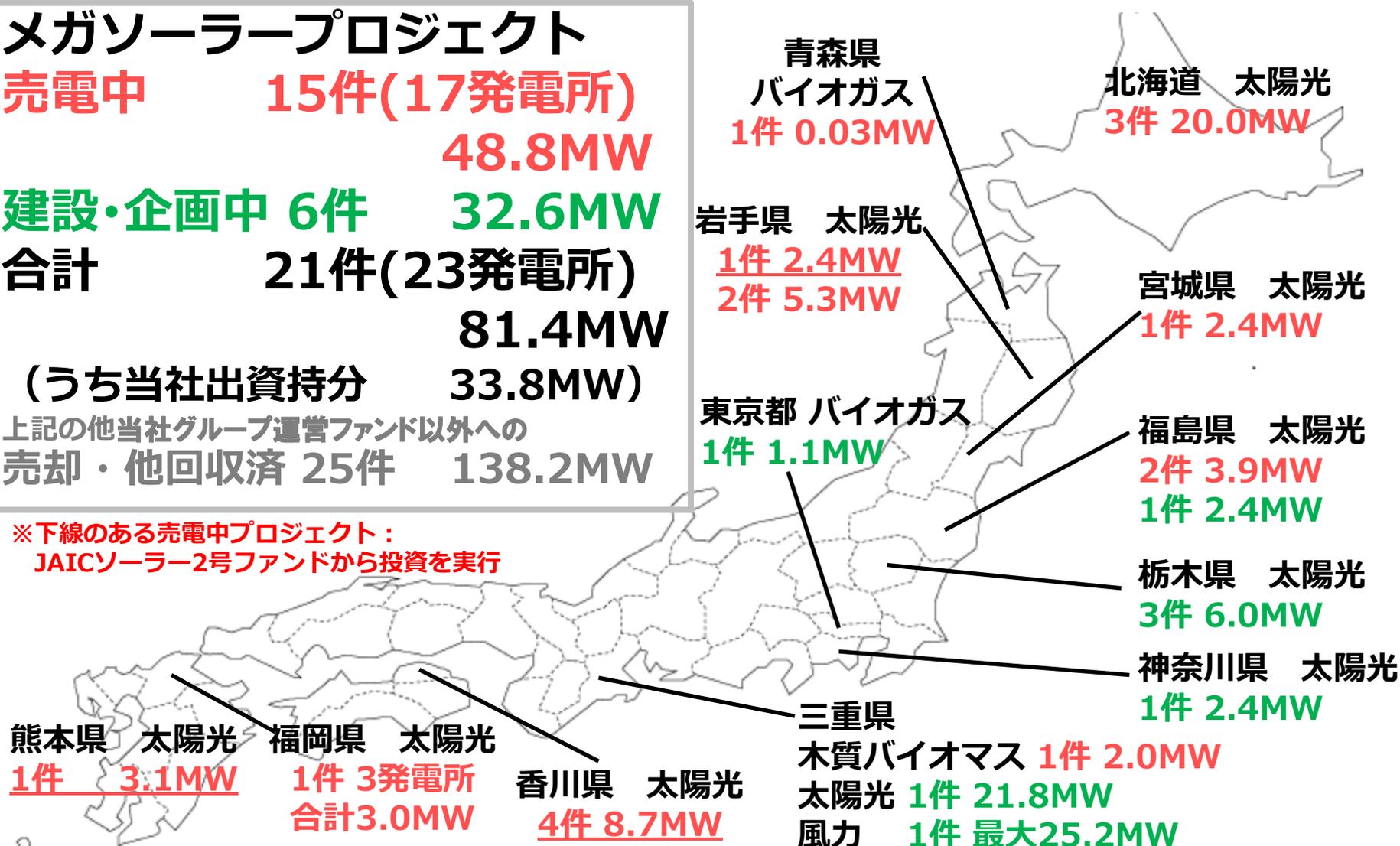
6. 参考情報



再生可能エネルギープロジェクト一覧	P18
プロジェクト投資 案件一覧	P19
プライベートエクイティ投資 投資残高内訳	P21
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P22
主要データの推移	P23
営業収益・営業原価 内訳	P25
投資領域	P26
JAICの強み	P27
収益構造	P28
会社概要	P30

メガソーラープロジェクト	
売電中	15件(17発電所) 48.8MW
建設・企画	6件 32.6MW
合計	21件(23発電所) 81.4MW
(うち当社出資持分 33.8MW)	
上記の他当社グループ運営ファンド以外への	
売却・他回収済	25件 138.2MW

※下線のある売電中プロジェクト：
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2020年12月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト総額
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町 (※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
	2	野間池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	3	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	4	御田神辺池ソーラー発電所 (※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	5	岩手一関ソーラーパーク (※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	6	中王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	7	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	-
	8	東王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	9	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 (2018年10月売電開始)	36	-
	10	加美ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年10月売電開始)	36	約9.6億円
	11	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40	約66億円
	12	北海道亀田郡七飯 (ななえ) 町	2.0	売電中 (2020年3月売電開始)	36	-
	13	三重県	21.8	建設・企画中	24	-
	14	福島県	2.4	建設・企画中	32	-
	15	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40	-
	16	厚岸ルークシュボール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40	-
	17	神奈川県	2.4	建設・企画中	32	-
	18	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36	-
	19	栃木県	2.0	建設・企画中	36	-
	20	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
	21	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
合計 81.4MW (うち当社出資持分 33.8MW)						

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

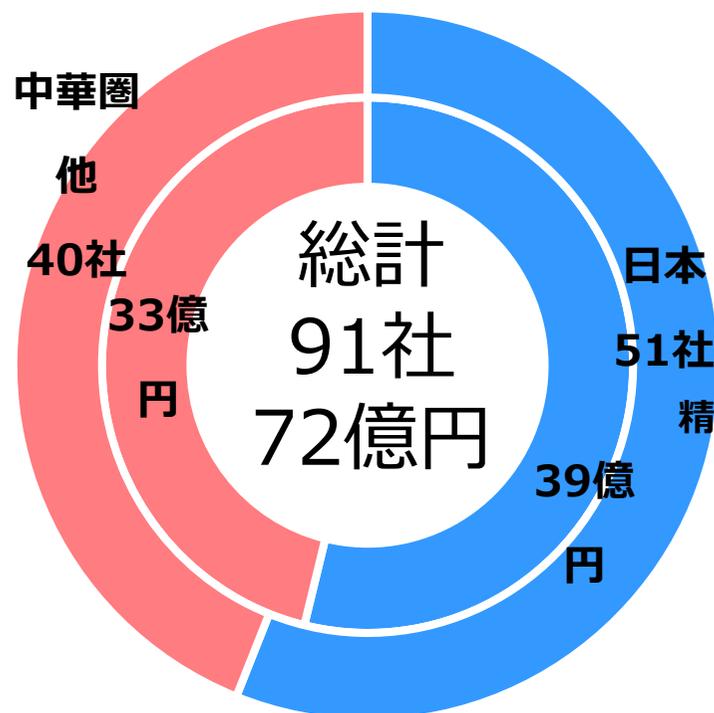
プロジェクト投資 案件一覧-2 (2020年12月末)



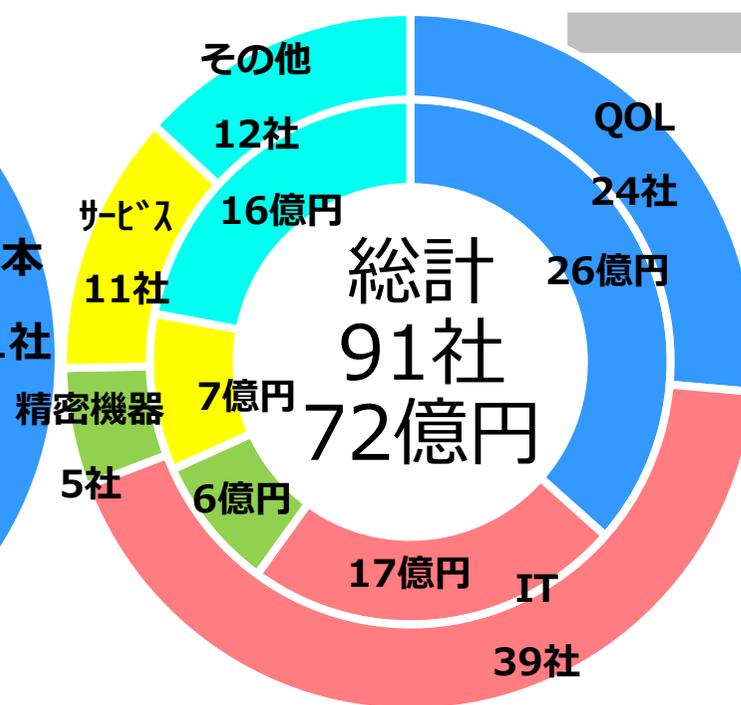
プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト総額
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-	-
バイオガス発電	1	東京都	1.1	売電準備中	39	-
				バイオガスを生成する食品リサイクル会社	-	-
	2	青森東北町発電所	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39	-
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画中	22	-
植物工場		兵庫県丹波篠山市	-	操業中 (2019年3月操業開始)	-	約7億円
高齢者向け施設	1	東京都江東区東雲	-	建設・企画中	-	-
	2	東京都港区南青山	-	建設・企画中	-	-
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	-	営業中 (2020年8月営業開始)	-	-
	2	栃木県宇都宮市	-	建設・企画中	-	-
	3	広島県広島市	-	営業中 (2020年8月営業開始)	-	-
	4	埼玉県加須市	-	建設・企画中	-	-
商業ビル		愛知県	-	営業中 (既存ビルへの投資)	-	-
物流施設	1	埼玉県越谷市	-	建設・企画中	-	-
	2	神奈川県厚木市	-	建設・企画中	-	-
	3	神奈川県海老名市	-	建設・企画中	-	-
	4	神奈川県海老名市	-	建設・企画中	-	-

投資残高 91社、合計72億円

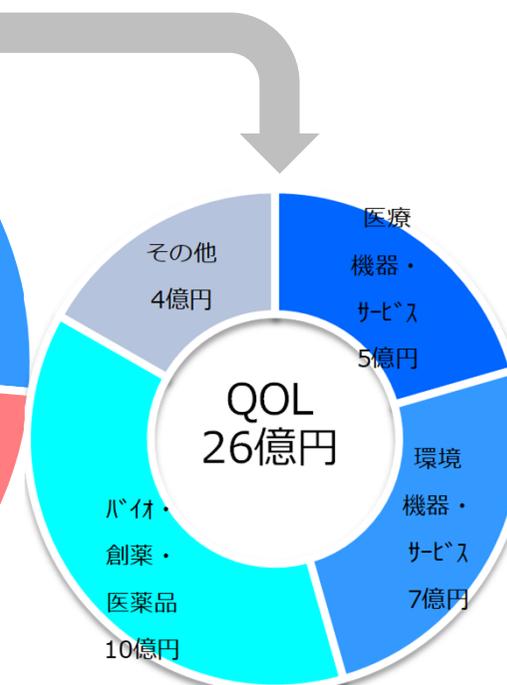
【地域別内訳】



【業種別内訳】



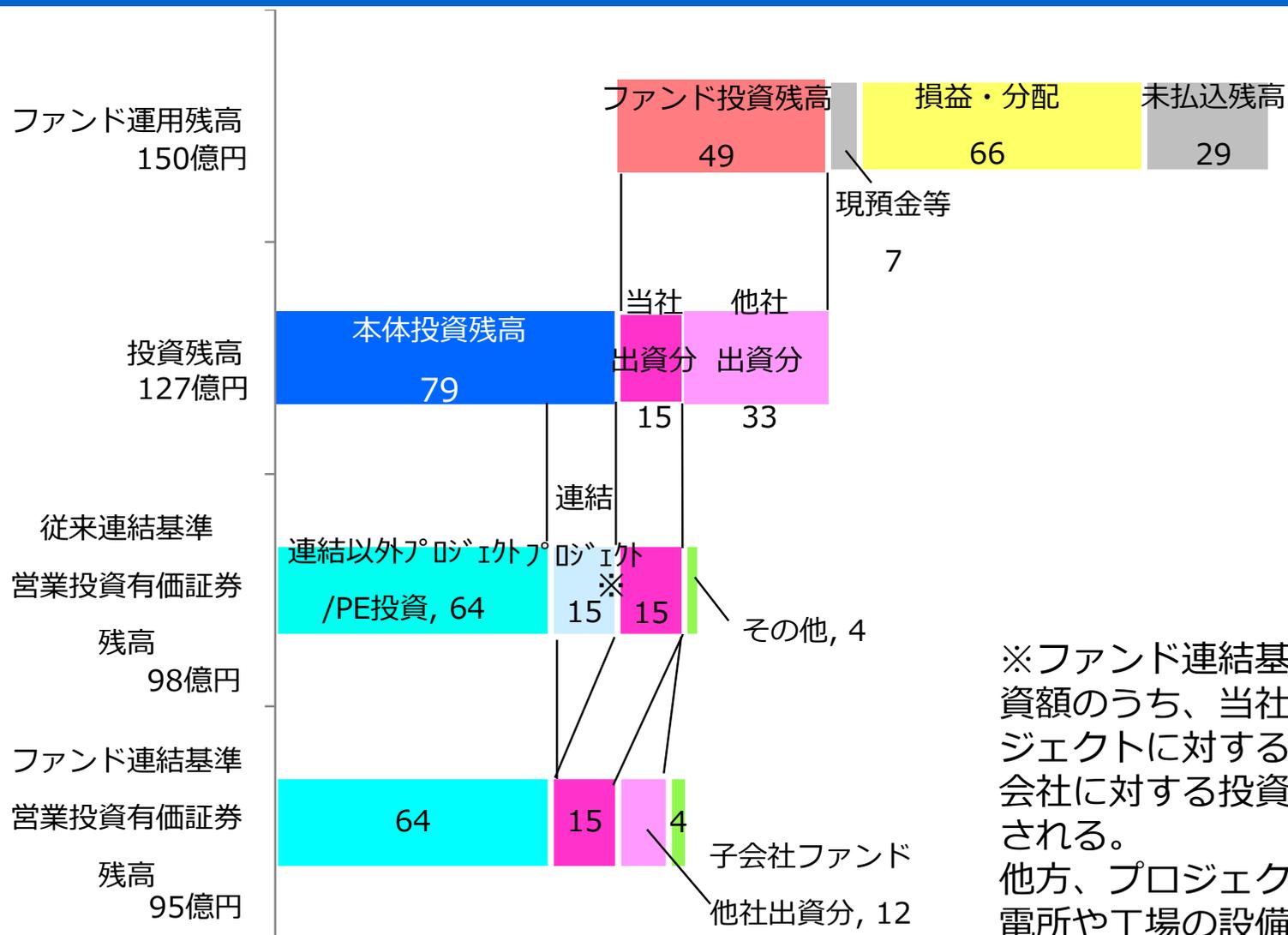
【QOL内訳】



1社当たり平均投資金額：

日本76百万円、中華圏他83百万円/QOL:110百万円、IT:43百万円

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



※ファンド連結基準では、本体投資額のうち、当社が運営するプロジェクトに対する投資部分は、子会社に対する投資とみなされ消去される。他方、プロジェクトが保有する発電所や工場の設備等が、固定資産に計上される。

主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/3(3Q)	21/3(3Q)
ファンド設立・増加額	5,201	500	1,000	2,000	1,359	-	151
ファンド運用残高	39,335	28,753	19,150	16,494	17,390	16,094	15,048
うち 当社グループ出資額	14,004	9,427	5,867	5,344	5,163	5,191	4,957
投資実行額 総額	4,093	4,315	3,887	3,749	3,374	2,927	757
投資残高 総額	18,783	16,558	13,981	13,951	15,101	14,490	12,735
投資実行額 内訳 (プライベートエクイティ投資)	1,304	1,131	1,205	136	1,224	977	242
投資残高 内訳 (プライベートエクイティ投資)	15,061	11,981	10,398	8,437	8,405	8,298	7,201
投資実行額 内訳 (プロジェクト投資)	2,788	3,184	2,681	3,612	2,150	1,950	515
投資残高 内訳 (プロジェクト投資)	3,722	4,576	3,582	5,514	6,696	6,191	5,534

主要データの推移 ②



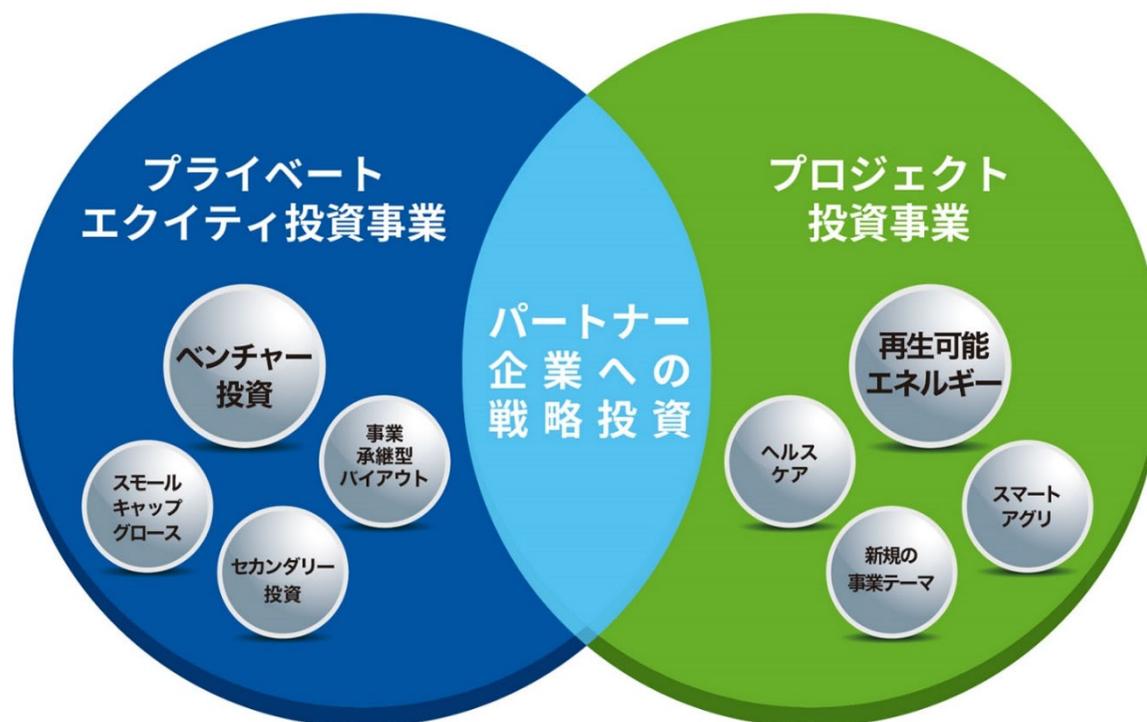
・業績、財務状況

(単位：百万円)	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/3(3Q)	21/3(3Q)
業績							
営業収益	4,043	3,926	5,403	2,475	2,760	937	1,978
営業総利益	1,554	2,176	2,328	1,286	1,359	121	507
販売費及び一般管理費	1,472	1,339	1,311	1,109	1,094	780	819
営業利益	82	836	1,017	177	265	△658	△311
経常利益	612	726	954	83	140	△753	△335
親会社株主に帰属する当期純利益	597	553	874	578	302	△752	△361
財務状況							
現預金	8,202	6,213	7,308	5,564	3,920	2,125	4,103
営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	3,722	4,081	3,582	5,514	5,437	6,281	4,551
営業投資有価証券（戦略投資投資）	100	100	373	373	1,005	855	1,190
引当後 営業投資有価証券（フィナンシャル投資）	8,126	7,256	5,657	4,765	4,282	4,644	3,133
借入金	16,910	14,128	11,954	9,784	8,166	8,166	6,950
自己資本	4,976	5,686	6,545	6,840	7,223	6,427	6,785
総資産	22,680	20,305	19,220	17,305	15,800	14,972	14,028

営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)		16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/3(3Q)	21/3(3Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	441	364	277	241	199	153	126	△17.8%
	成功報酬	288	101	86	-	-	-	-	-
	営業収益	729	466	364	241	199	153	126	△17.8%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	729	466	364	241	199	153	126	△17.8%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	2,954	2,275	3,219	1,746	2,349	566	1,615	185.2%
	組合持分利益・インカムゲイン等	345	1,159	1,677	429	172	187	198	5.7%
	営業収益	3,300	3,434	4,897	2,176	2,521	753	1,813	140.6%
	営業投資有価証券売却原価	1,863	1,423	2,469	554	965	436	937	114.9%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	569	274	562	579	245	237	218	△7.9%
	組合持分損失等	47	46	36	49	184	137	308	123.9%
	営業原価	2,481	1,744	3,069	1,182	1,395	811	1,465	80.5%
	営業総利益	818	1,690	1,827	993	1,125	△57	348	-
3.	その他								
	営業収益	13	25	142	57	40	29	38	29.6%
	営業原価	7	6	5	6	5	4	5	42.5%
	営業総利益	5	19	136	51	34	25	32	27.6%
合計									
	連結営業収益	4,043	3,926	5,403	2,475	2,760	937	1,978	111.1%
	連結営業原価	2,488	1,750	3,074	1,188	1,401	815	1,470	80.3%
	連結営業総利益	1,554	2,176	2,328	1,286	1,359	121	507	317.9%



プライベートエクイティ投資

成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資します。
投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援します。

戦略投資

当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資を行います。
投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を行います。

プロジェクト投資

メガソーラーを始めとする再生可能エネルギーや、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設のディストリビューションセンタープロジェクトに投資をしています。
プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用して投資の採算性を追求します。

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

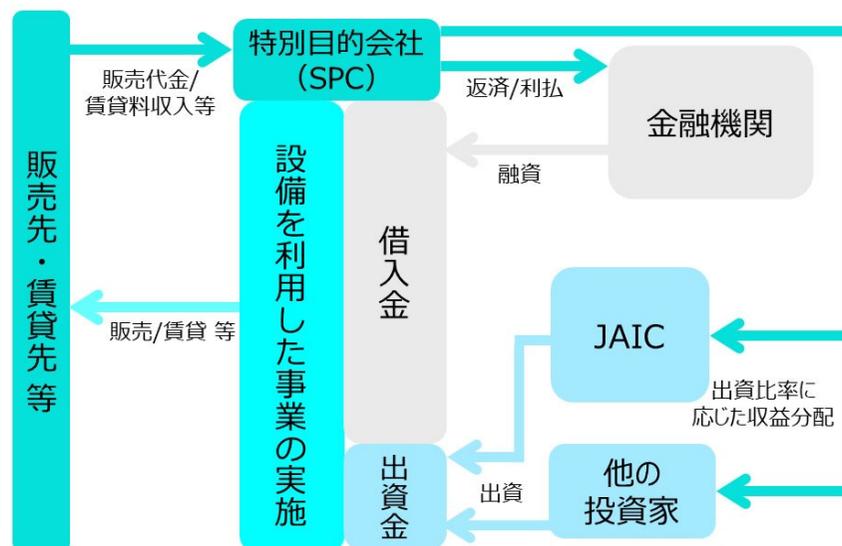
国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

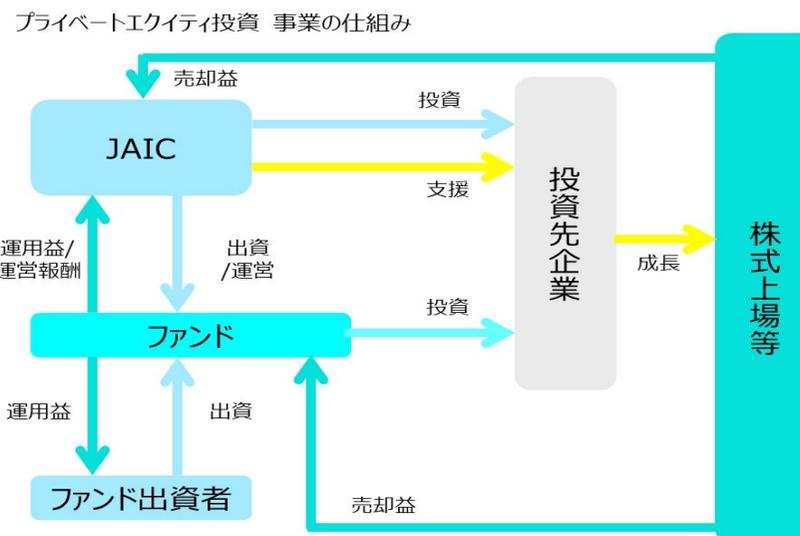
収益構造-プロジェクト投資

プロジェクト投資 事業の仕組み



- 発電所、工場、住居施設、倉庫といった設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、これらの設備を建設し、完成後の設備の運営により生み出される利益から投資に対する分配を受けます。また、完成後に設備を売却して利益を得る場合もあります。
- 再生可能エネルギー、ヘルスケア（高齢者向け施設、障がい者グループホーム）、スマートアグリ（植物工場）、ディストリビューションセンター（物流施設）等のプロジェクトへ投資しています。
- プロジェクトの建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの負債性資金で調達することで、少額の投資資金で高い採算性を追及している点が特徴です。
- 加えて、多様な分野のプロジェクトに機動的に投資を行うために、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んでいる点も特徴です。

収益構造 - プライベートエクイティ投資



- 日本を含むアジア地域におけるベンチャー企業や中堅・中小企業等を中心とした有望企業へ投資し、育成・支援を通じて投資先企業の企業価値を高め、株式の売却益を得ることを目的とした投資です。また、投資活動の過程で得る企業のニーズを基にM&Aの仲介業務も行います。
- プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」と、それ以外の「フィナンシャル投資」の2つの種類があります。
- 戦略投資を行った企業には、株主としての支援だけではなく、パートナーとして共にプロジェクトを運営し、その成長を支援します。
- フィナンシャル投資の特徴は、長年の経験により蓄積された上場支援に加え、広いネットワークを活用した海外展開支援や営業支援を行う点です。そのために、中国の政府系機関やアジア諸国のパートナー企業と業務提携などを行い、アジアのネットワークを構築しています。

会社概要（2020年12月末現在）



会社名	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC		
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号		
設立年月日	1981年7月10日		
資本金	5,426百万円		
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：8518）		
従業員数	単体21名／連結37名		
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資		
役員	取締役会長（独立社外）	川俣 喜昭	： 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗	
	取締役（常務執行役員）	八田 正史	
	取締役	大森 和徳	： 監査等委員長
	取締役（独立社外）	安川 均	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	沼波 正	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	片桐 春美	： 監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

<https://www.jaic-vc.co.jp>

I Rに関するお問合せ先：執行役員 岸本、管理グループ 丸山

I Rに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

（ご注意）本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。